

津島市史

資料篇

(四)

目次

解説

津島市域内各村位置関係略図

- ① 延享五年 津島之図（その一）
- ① 延享五年 津島之図（その二）
- ① 延享五年 津島之図（その三）
- ② 又吉新田村絵図
- ③ 天保十二年 津島五ヶ所新田村絵図（その一）
- ③ 天保十二年 津島五ヶ所新田村絵図（その二）
- ④ 天保十二年 日光新田村絵図
- ⑤ 弘化四年 古川村絵図
- ⑥ 弘化四年 百町村絵図
- ⑦ 弘化四年 白浜村絵図
- ⑧ 弘化四年 高台寺村絵図
- ⑨ 弘化四年 神尾村絵図
- ⑩ 天保十二年 大坪村絵図
- ⑪ 弘化四年 金柳村絵図
- ⑫ A 天保十二年 我原村絵図
- ⑫ B 我原村屋敷地絵図
- ⑬ 天保十二年 北神守村絵図
- ⑭ 天保十二年 南神守村絵図
- ⑮ 弘化四年 百島村絵図
- ⑯ 弘化四年 牛田村絵図
- ⑰ 弘化四年 越津村絵図
- ⑱ 弘化四年 下切村絵図
- ⑲ 天保十二年 椿市村絵図
- ⑳ 天保十二年 宇治村絵図
- ㉑ 天保十二年 光正寺村絵図
- ㉒ 天保十二年 大木村絵図
- ㉓ A 弘化四年 蛭間村絵図
- ㉓ B 蛭間村蔵入地・給地入込場所図
- ㉔ 弘化四年 寺野村絵図
- ㉕ 天保十二年 牧野村絵図
- ㉖ 天保十二年 青塚村絵図
- ㉗ 葉刈村絵図
- ㉘ 弘化四年 半右衛門新田村絵図
- ㉙ 弘化四年 頭長村絵図
- ㉚ 唐臼村絵図
- ㉛ 鹿伏兎村絵図
- ㉜ 弘化四年 中一色村・日光新田村絵図
- ㉝ 天保十二年 落合新田村絵図
- ㉞ 天保十二年 河原津島天王祭車田絵図

解

說

現在の津島市域は、江戸時代に一村立ちの村であった津島村・又吉新田・向島村・日光新田・古川村・百町村・白浜村・高台寺村・神尾村・大坪村・金柳村・莪原村・北神守村・南神守村・百島村・牛田村・越津村・下切村・椿市村・宇治村・光正寺村・大木村・蛭間村・寺野村・牧野村・青塚村・葉刈村・半右衛門新田・頭長村・唐臼村・鹿伏兎村・中一色村の三二カ村の全域と、津島五ヶ所新田（津島町方新田・津島草平新田・津島西川端新田・津島淵高新田・津島大野山新田・津島鷹場新田の六カ村の新田村）のうちの津島町方新田の枝郷である上中地・下中地、それに落合新田の一部分からなりたっている。

明治九年（一八七六）、町方新田の支邑であった上中地・下中地が、中地村として独立し、明治二十一年（一八八八）四月十七日法律第一号『市制・町村制』の公布にもとずいて、翌二十二年十月一日に合併し、津島町となった。江戸時代において、津島五ヶ所新田とよばれる六カ村の新田村は、津島村の開墾ではあるが、行政的には別個の独立した一村立ちの村々である。そのうちの津島町方新田も、津島町方新田（町方堤内・中地源助・彦作分・喜三郎分・大中地分）・津島町方寅新田（彦作堤外・十二代早尾道・小中地分）・津島弥右衛門新田・津島松川新田・津島小寅新田・津島埋田新田・津島午新田の総名であり、『尾張徇行記』によれば、下中地は江戸時代すでに「津島本郷」に属していたとしている。

落合新田は、明治十一年（一八七八）十二月二十八日、中一色・唐臼（以上、現津島市）・大井・稲葉・落合（以上、現佐屋町）の五カ村に分割された。日光新田も同日に中一色・宇治・下切（以上、現津島市）・諸桑（現佐織町）の四カ村に分割されたが、明治二十二年十月一日、旧日光新田であった部分は、すべて津島町へ合併されたので、江戸時代の日光新田全域が、津島市域内に入っている。明治十一年十二月二十八日の分割は、同年七月二十二日、太政官布告第十七号『郡区町村編成法』が公布され、愛知県では十二月二十日に施行されたのにもとずい

江戸時代村名	明治9→	明治11・12・28→	明治22・10・1→	明治39・7・1→	大正14・4・1→	昭和22・3・1→	昭和30・1・1→	昭和31・4・1→
津島村		津島村	津島町					
又吉新田								
向島村								
町方新田の上 中地・下中地	中地村							
日光新田	中一色・宇治・下切・諸桑 村の各字日光として分割	各字の日光とも津島へ合併						
古川村		諸桑村と合併、 諸古村	5ヵ村で 佐織村	古川のみ 合併	津島市			
百町村		百高村	神守村					
白浜村								
高台寺村								
神尾村		益和村						
大坪村								
金柳村								
我原村								
北神守村		神守村						
南神守村								
百島村		越治村						
牛田村								
越津村								
下切村								
椿市村								
宇治村								
光正寺村								
大木村		野間村						
蛭間村								
寺野村								
牧野村								
青塚村								
葉刈村								
半右衛門新田			神島田村	永和村 { 千秋村 (大野新田・ 鱈江新田・善太新田) ・大井村 (大井村・ 善太新田) と合併 }				
頭長村								
唐臼村								
鹿伏兎村								
中一色村								
落合新田		中一色・唐臼・大井・稲葉 ・落合5ヵ村へ分割						

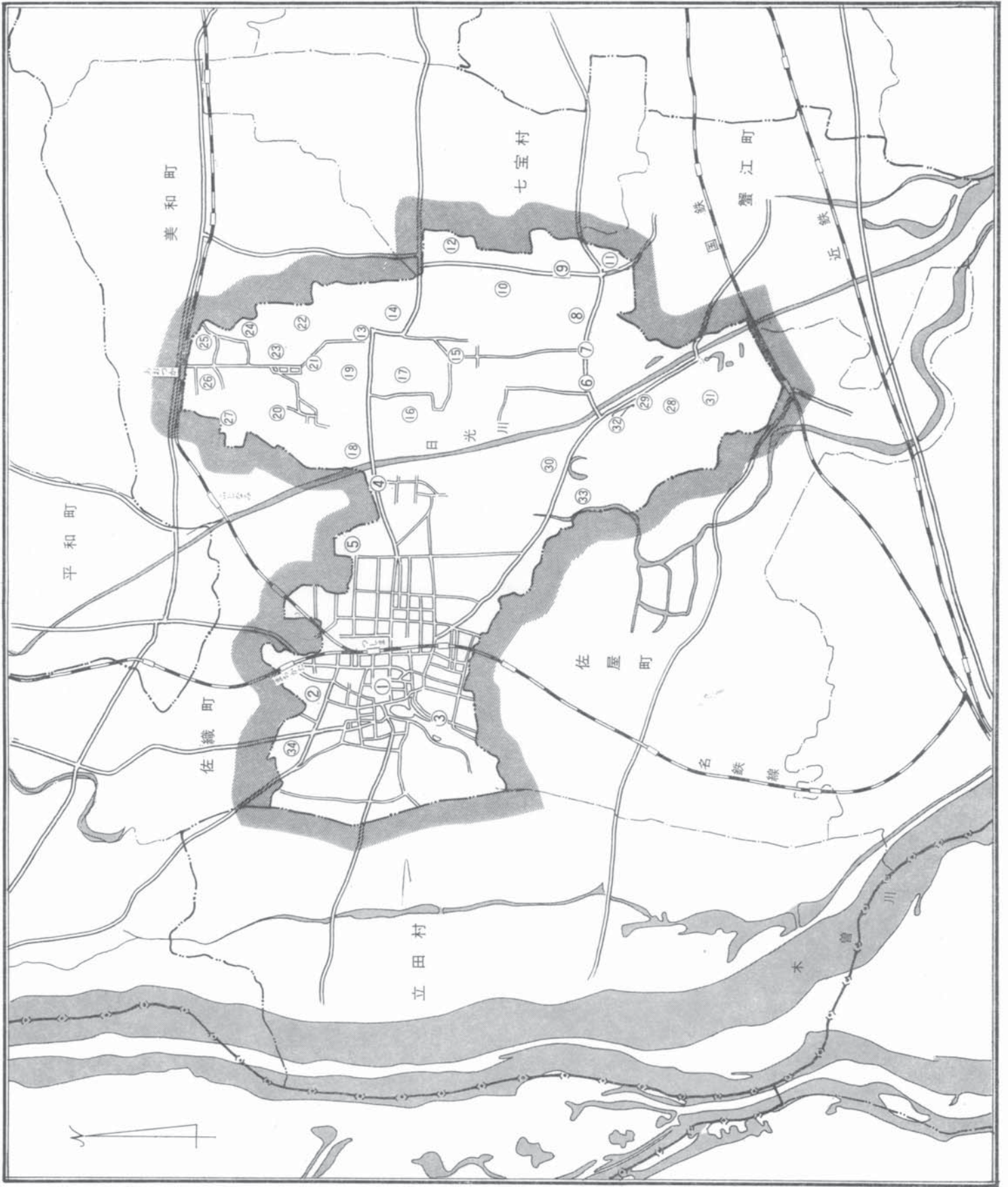
たものである。

さて、現市域形成までを概観すれば、右記の表のようである。このうち、古川村は、明治二十二年十月一日、諸桑村と合併し諸古村となり、明治三十八年十月、愛知県知事深野一三の訓令による翌三十九年七月一日の県下町村大合併で、藤浪村（南河田・北河田・諏訪・小津・見越・根高の六カ村）・草場村（吉十郎新田・鷹場新田・草平新田・町方新田の四カ村）・勝幡村（勝幡・佐折・古瀬・千引の四カ村）・川淵村（淵高新田・大野山新田・新九郎新田・西川端新田の四カ村）と合併して佐織村となった。そして大正十四年（一九二五）四月一日、旧古川村だけが津島町に合併した。また、半右衛門新田・頭長・唐臼・鹿伏兔・中一色の五カ村で、明治二十二年十月一日に形成した神島田村は、明治三十九年七月一日、千秋村（大野新田・鱒江新田・善太新田の三カ村）・大井村（大井・善太新田の二カ村）と合併して永和村となったが、旧神島田村の地域は、昭和三十一年四月一日、津島市に合併したのである。

以下、本編収録の市域関係の江戸時代村絵図の凡例をあげる。

- (1) 原色版「津島之図」は、延享五年（寛延元年Ⅱ一七四八）三月の作成で、現存最古の津島図。作者は津島天王社の社家堀田三太夫之邑、筆者は柘植直勝、画工は福尾定裕である。津島市善福寺所蔵。
- (2) その他の村絵図も、すべて彩色がほどこされているが、単色版とし、村絵図の大きさも大小区々であるが、すべてA5版8倍内に縮小した。
- (3) その他の村絵図は、天保十二年（一八四一）と弘化四年（一八四七）、尾張藩領の村々が一勢に村絵図を作成し、藩庁に提出したもので、徳川林政史研究所の所蔵である。
- (4) 各村絵図に①②③……の番号を付し、現津島市域および近郊略図内の対照番号によって、およその位置関係を示めすことにした。

津島市域内各村位置関係略図



石町由五十二間 以爲西手間 今市場在町中
石町由五十二間 以爲西手間 今市場在町中
石町由五十二間 以爲西手間 今市場在町中

石町由五十二間 以爲西手間 今市場在町中
石町由五十二間 以爲西手間 今市場在町中

一神增石十坊今神增地家院增置院
六坊五坊六坊七坊八坊九坊十坊
尼寺五坊六坊七坊八坊九坊十坊
寺 志願寺 同 今 寺 淨念堂 是
有坊寺今三坊寺十一坊

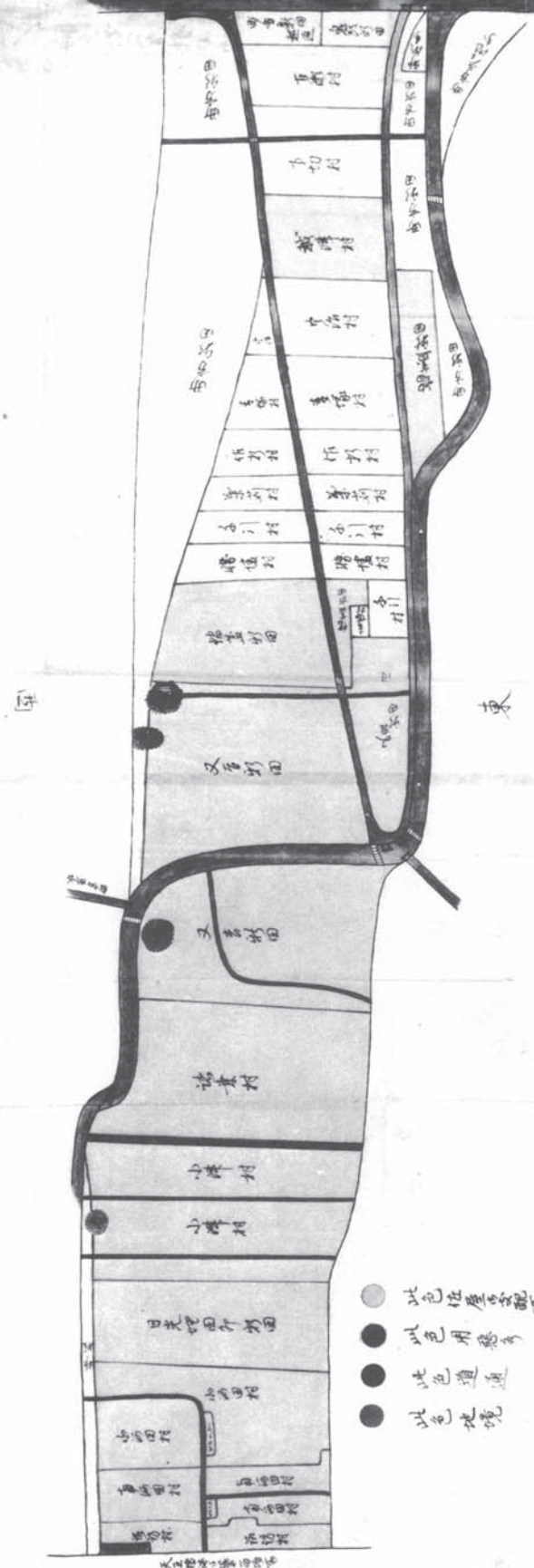
一神增石十坊今神增地家院增置院
六坊五坊六坊七坊八坊九坊十坊
尼寺五坊六坊七坊八坊九坊十坊
寺 志願寺 同 今 寺 淨念堂 是
有坊寺今三坊寺十一坊

石町由五十二間 以爲西手間 今市場在町中
石町由五十二間 以爲西手間 今市場在町中



石馬大入田手無田又入石馬名義開之居住...
 下地運、但屋敷、八、是、取、買、出、引、後、...
 勿、名、大、入、田、手、無、田、...
 下、地、運、...
 天、主、...
 空、...
 御、...
 依、...
 久、...
 建、...
 一、...
 水、...





海島新谷
一香神藏入
天保十二年
丑

天保田志
井澤作

此地
北
東
西
南

大野山
下起村
北

海東新門
海邊五ヶ村
新田
糸川



大野山
下起村
北

大野山
下起村
北

大野山
下起村
北

大野山
下起村
北

大野山新田村
東西四町目
南北九町目
家數百四十三軒
人數六百十九人 男三百九人 女三百人 馬三足

下起村

西光坊村

下九河村

- 一、糸川新田
- 一、大野山新田
- 一、下起村新田
- 一、西光坊新田
- 一、下九河新田
- 一、大野山新田
- 一、下起村新田
- 一、西光坊新田
- 一、下九河新田
- 一、大野山新田
- 一、下起村新田
- 一、西光坊新田
- 一、下九河新田
- 一、大野山新田
- 一、下起村新田
- 一、西光坊新田
- 一、下九河新田

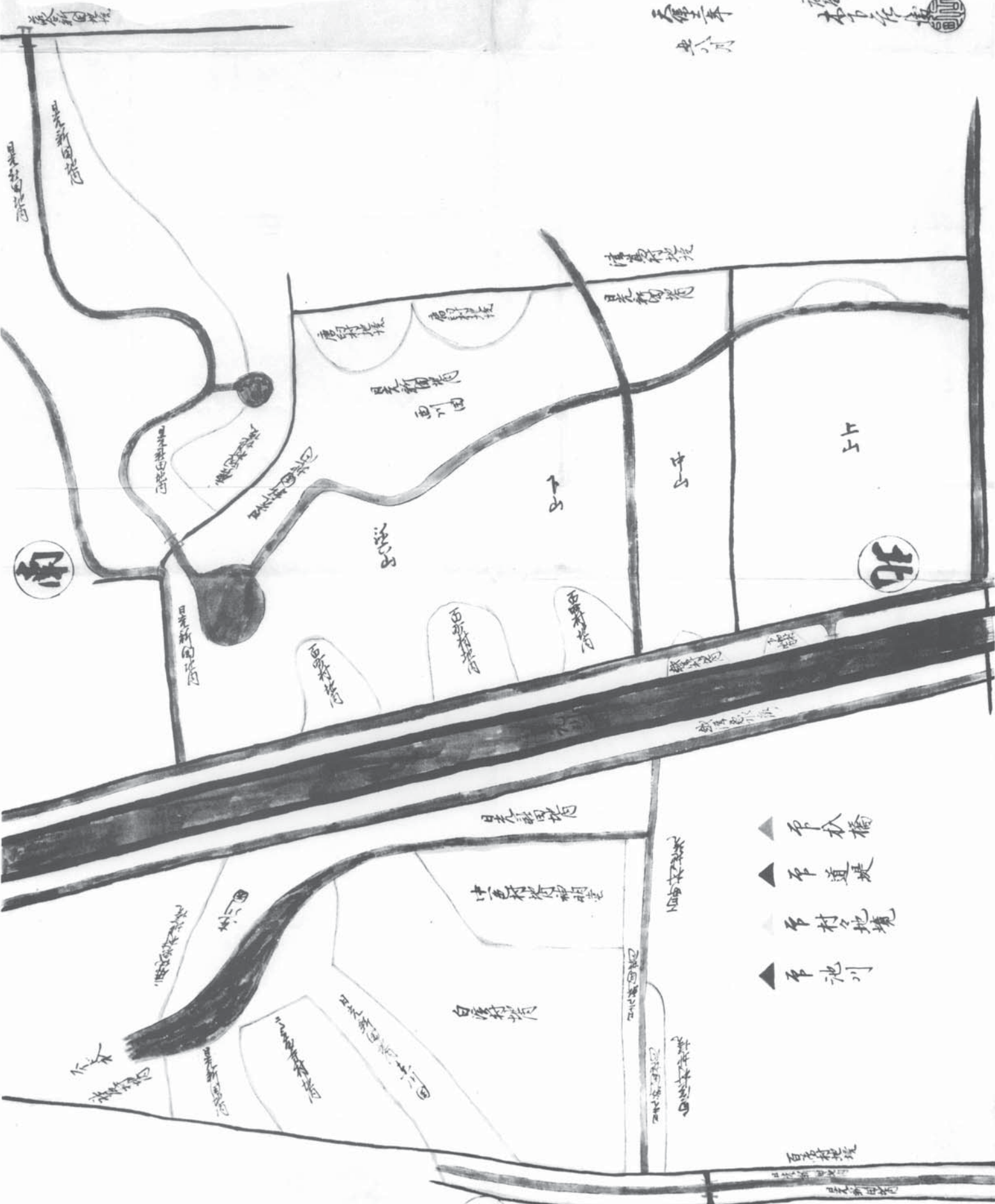
天保十二年

津島五ヶ所新田村絵図 (その二)

西

御家部 目元新田
 一各持地
 天保元年
 北六頁

宿 本下作



- ▲ 日光新田橋
- ▲ 日光新田堤
- ▲ 日光新田境
- ▲ 日光新田池

⑤

弘化四年

古川村絵図

⑥

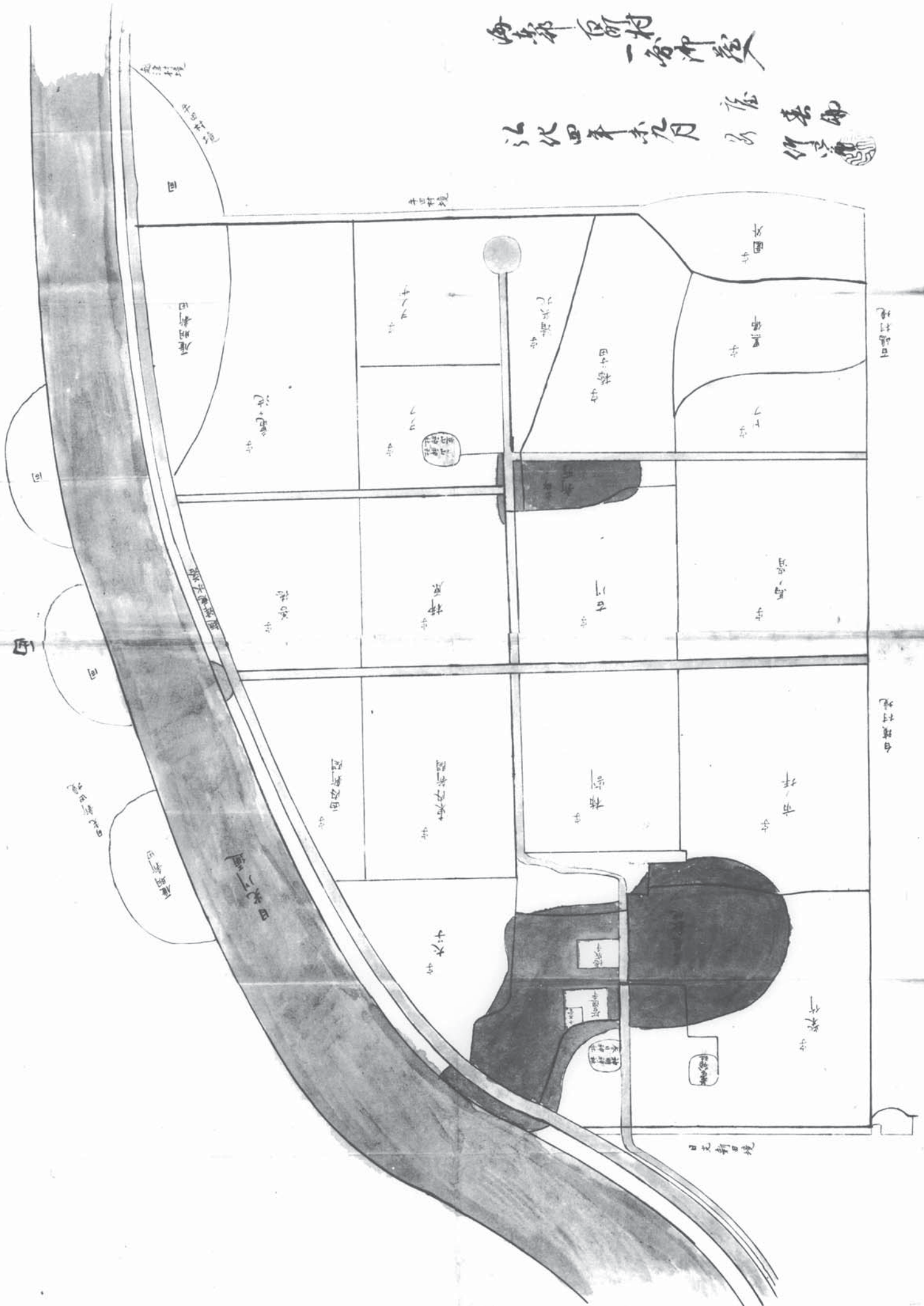
弘化四年

百町村絵図

海峽白河村

一各沖堂

弘化四年九月 家 善佛 竹堂



⑦

弘化四年

白浜村絵図

海東市白頭村
村人會

北

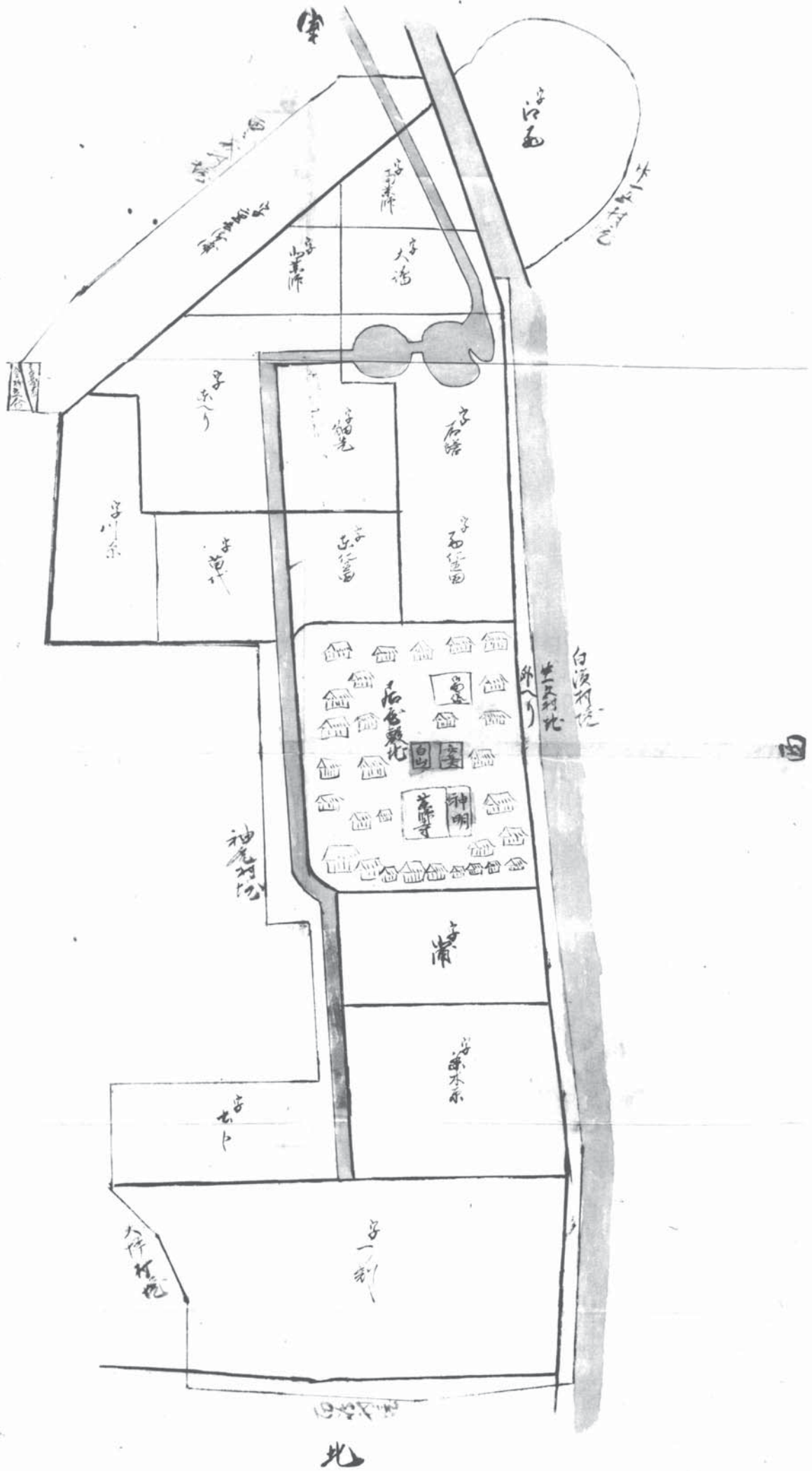
村堤



南

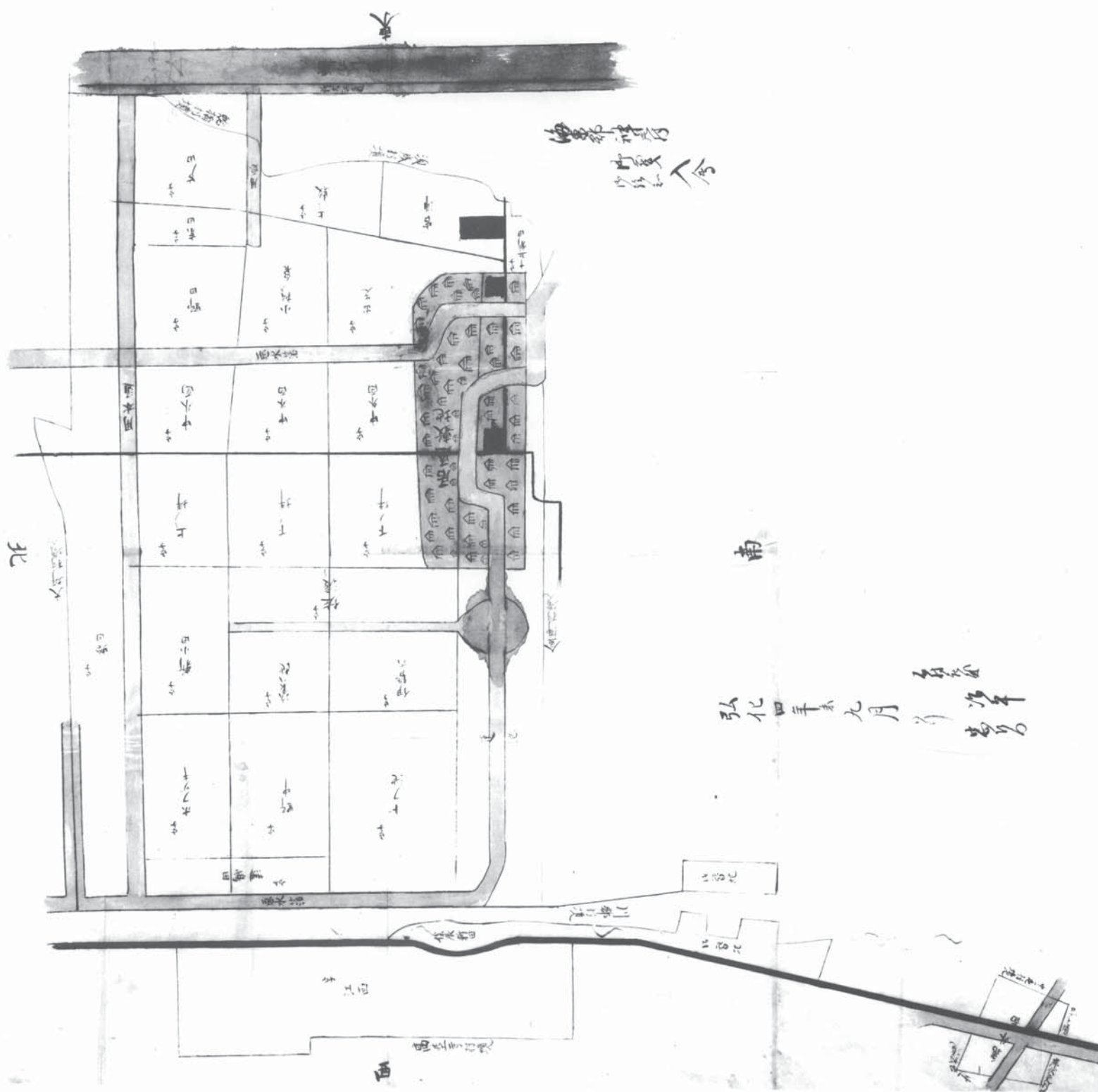
弘化元年九月

白頭村
村人會



弘化元年
未九月

白河村
神明
茶屋
元方



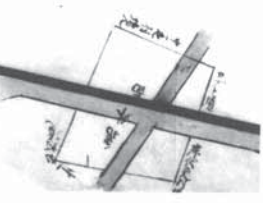
總領事府
 時多
 分紅
 舍

南

弘化四年春九月
 年
 出男

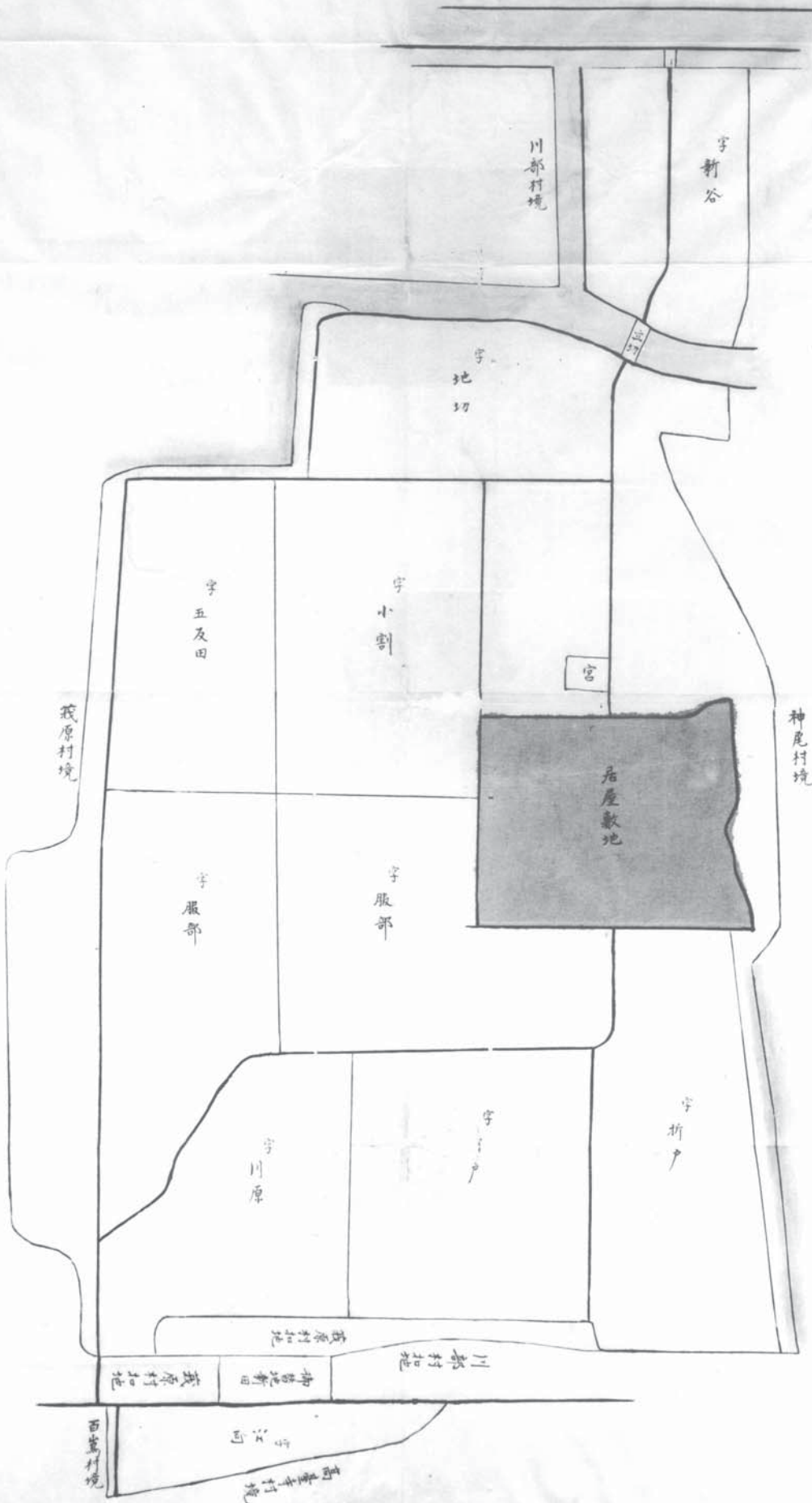
北

取



北

東



萩原村境

神尾村境

宮

居屋敷地

字五及田

字小割

字服部

字服部

字折戸

字川原

萩原村地

萩原村地

川部村地

御器新田

百葉村境

字江司

西津井村境

天保十二年七月

居屋

清長
門
長

海東郡大坪村

神尾村
入倉

海東郡金柳村
御所下舎

田

作辰新田境

金柳村
御所下舎

御所下舎

字 畑舎

字 代官間

字 上林田

字 上林田

字 烏帽子

御所下舎

字 比中

御所下舎

字 折

字 二番割

字 三番割

字 折

字 二番割

御所下舎

字 折道下

字 観音堂

河成町境

東

比田年九月 辰花 重春

西へ

東へ

⑫^A 天保十二年

我原村絵図

海東郡森茶村
竹野花屋

下田村境

宮

字 竹島田面

川部村境

字 茶光

字 武拾五

右屋敷地

大坪村境

往還

字 川原

字 郷西

字 久々田面

南

北

字 一丁田

字 橋向

字 長島

字 屋敷前

字 一丁

字 向三田

百島村境

字 神守前

新替地新田

申新田

古津井江地

百島村境

天保十一年七月
仙堂 龜島

○戸川九ノ山

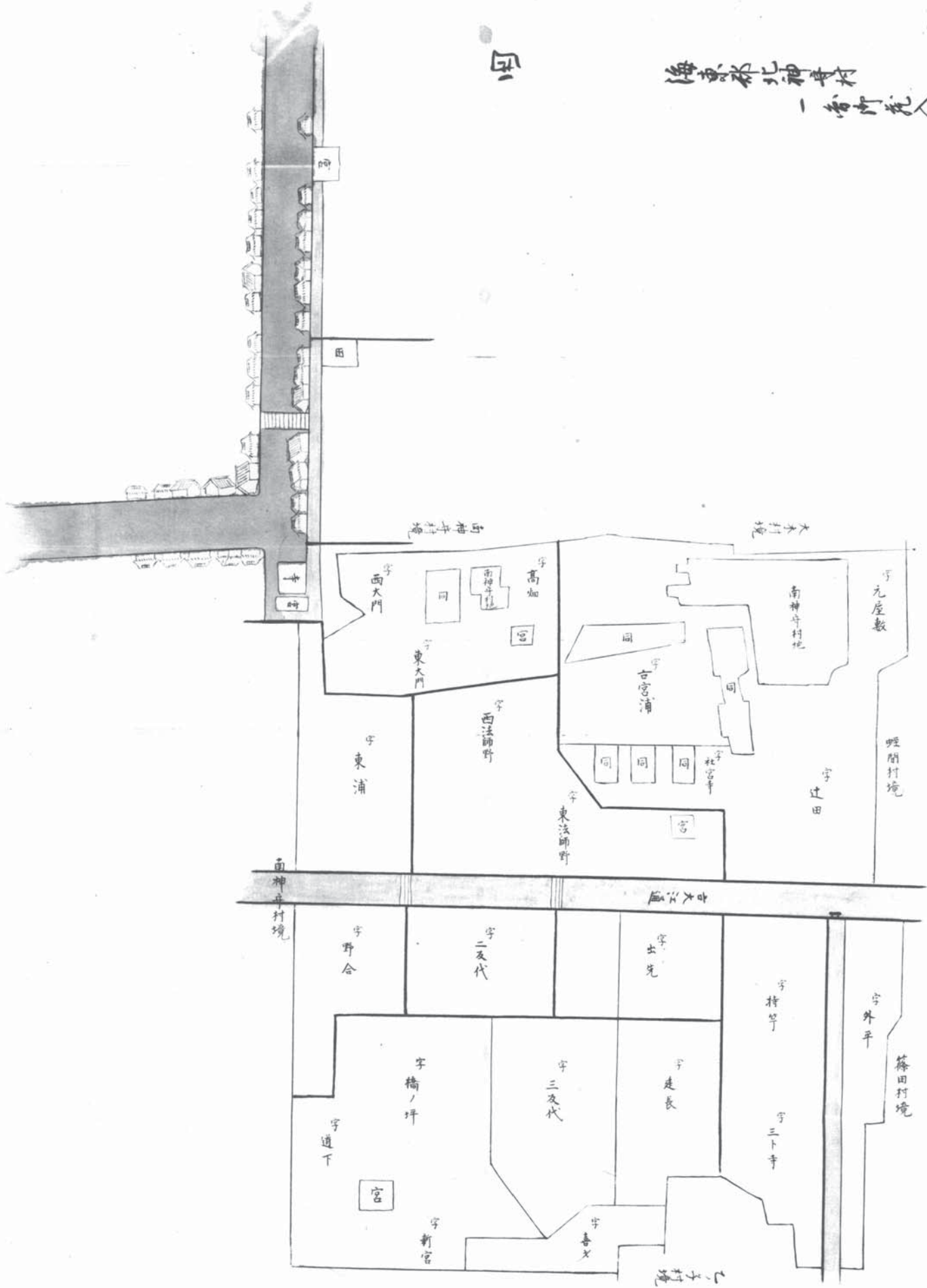


東

西

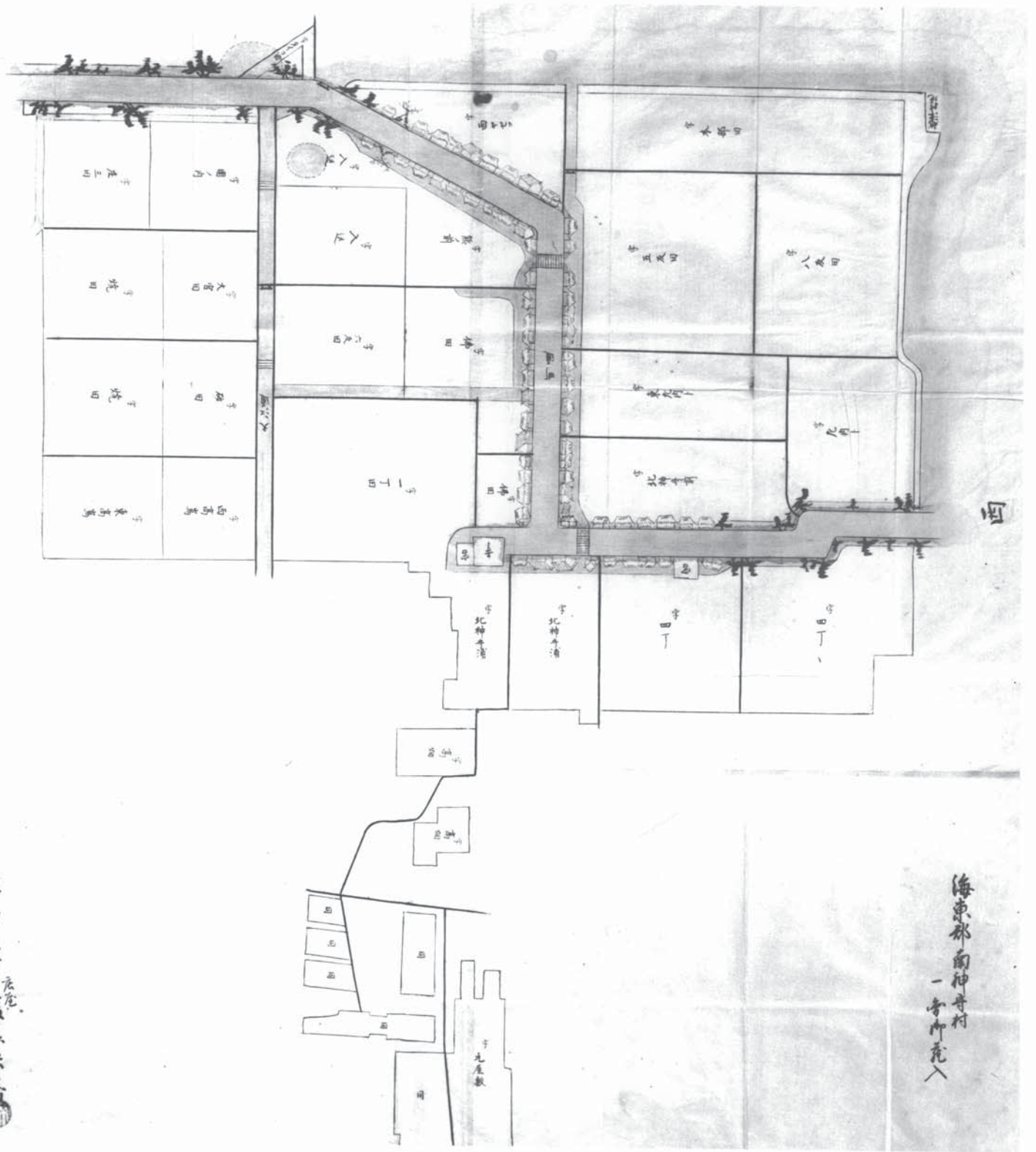
山手
山手村

山



南神守村絵図

海東郡南神井村
一寺山麓入



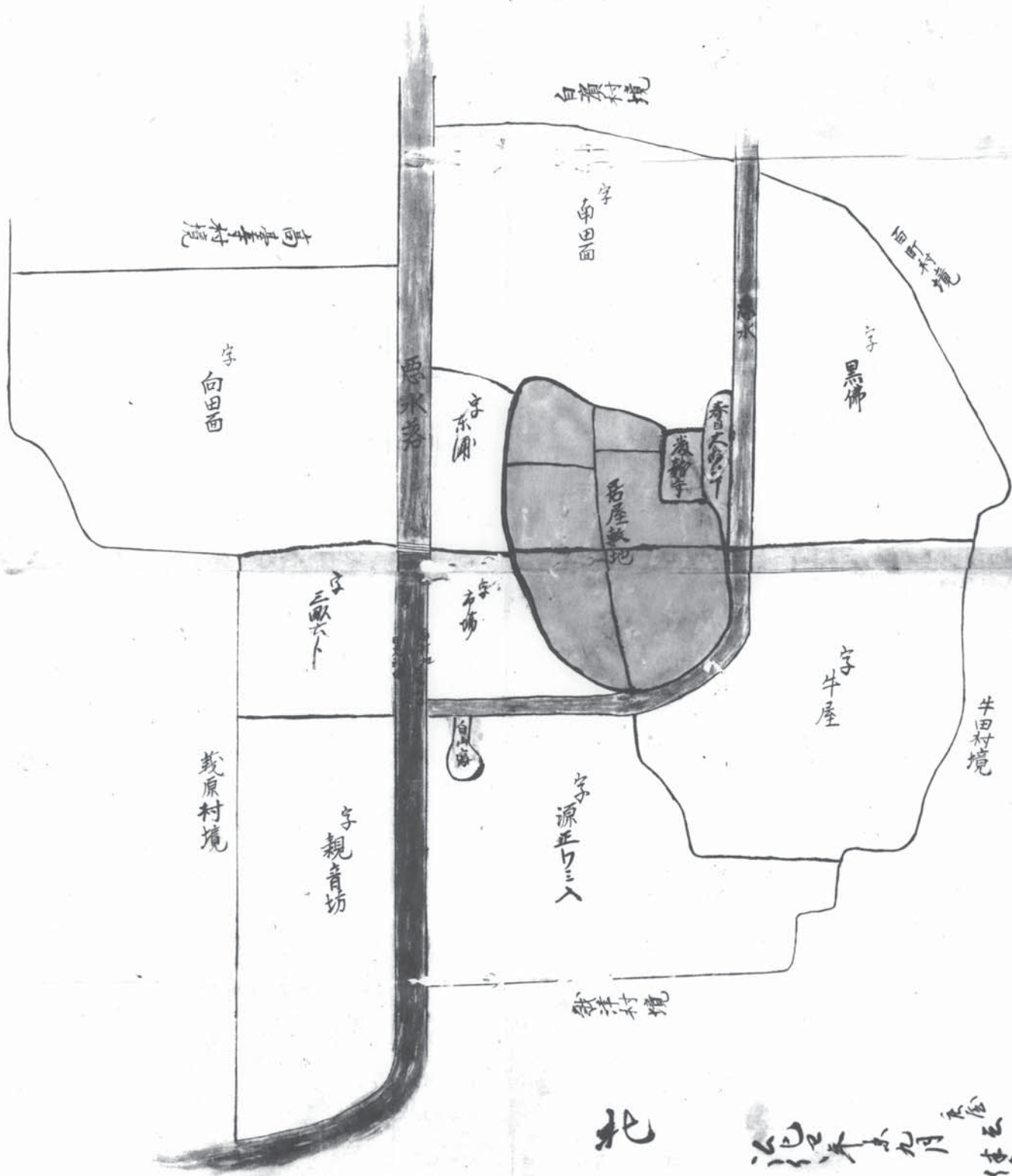
東

西

天保十二年七月
浪森共之繪

海東郡 白河町
白河町 下
白河町 下

南



北

海東郡 白河町
白河町 下
白河町 下

海東郡本田村卷

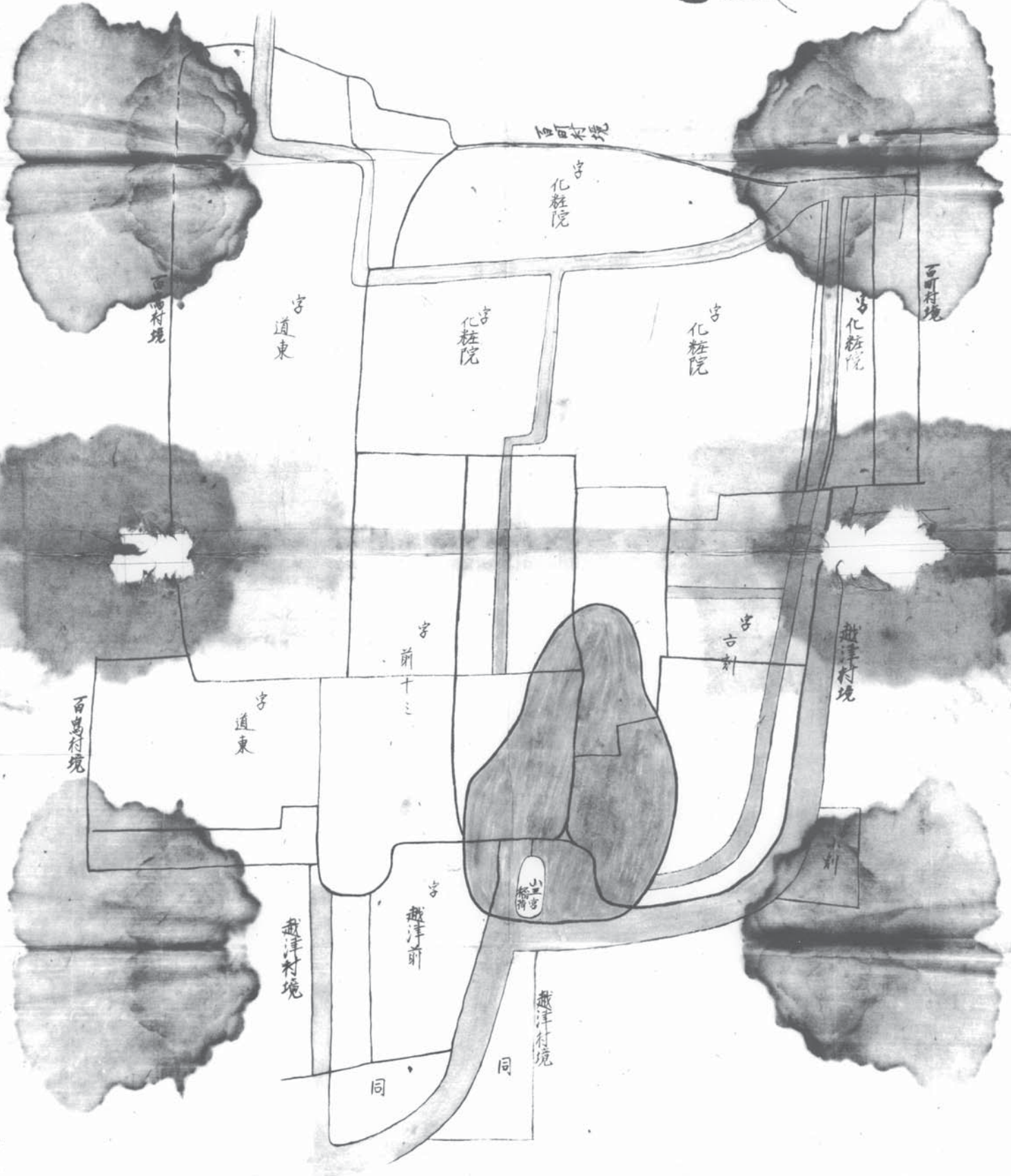
弘化四年
九月

二廿

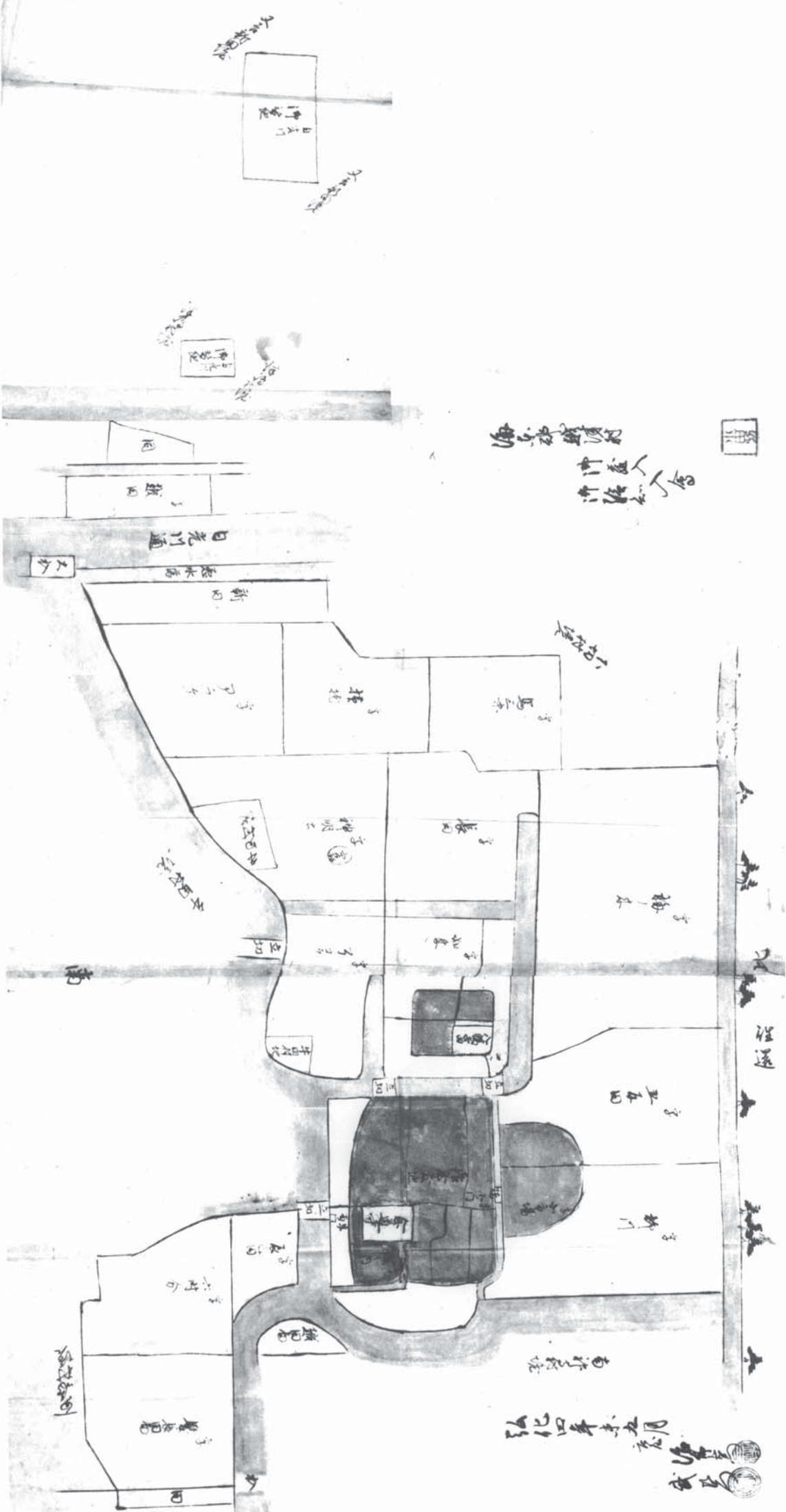
仲水

村家

北



北



海
 冲
 入
 舍

監

海

弘化四年未九月
 文正堂

南

水

字中別

字赤別

字七橋

字江代

弘化元年
未九月

○田●細●川●村●道

一糸御差入

沙東坂下切村

多谷願江
多谷幸地

字原坪

字之河

字清田



水

水

西宮村地州

東椿市村

字首代

字首代

字赤原

字西原

字坪川

字三味布

字原風

字三味布

西宮村

西宮村

水

字古原

字古原代

字田中



字江下

字原

水



北

南

蛭子村

光野村

油車村

油車村
 一色川

西

東

天保十二年五月
 林在

林在

海山能光寺
經初丁會

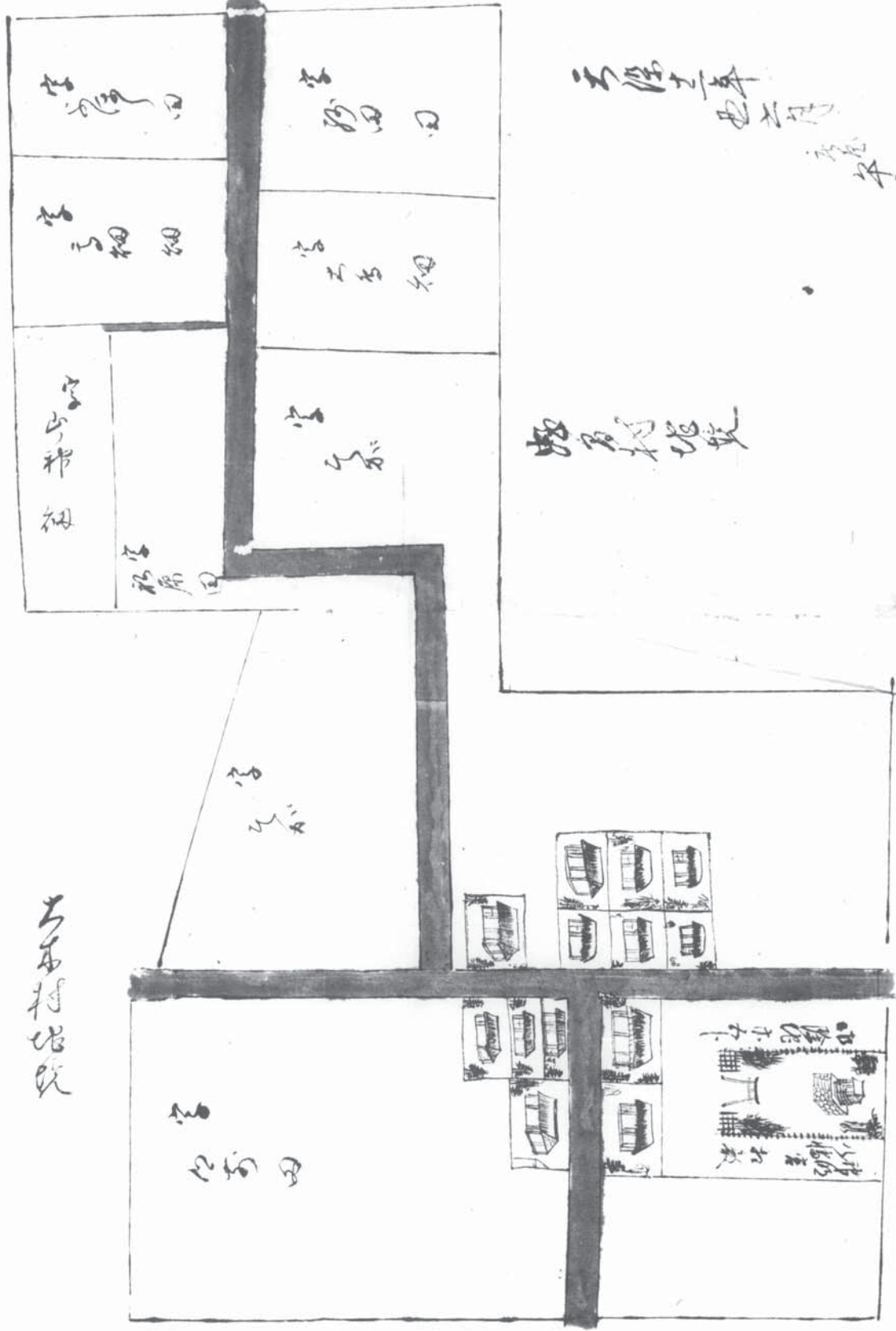
林多村地院

天保三年
也六月

天保三年
六月

林多村地院

林多村地院



林多村地院

林多村地院

林多村地院

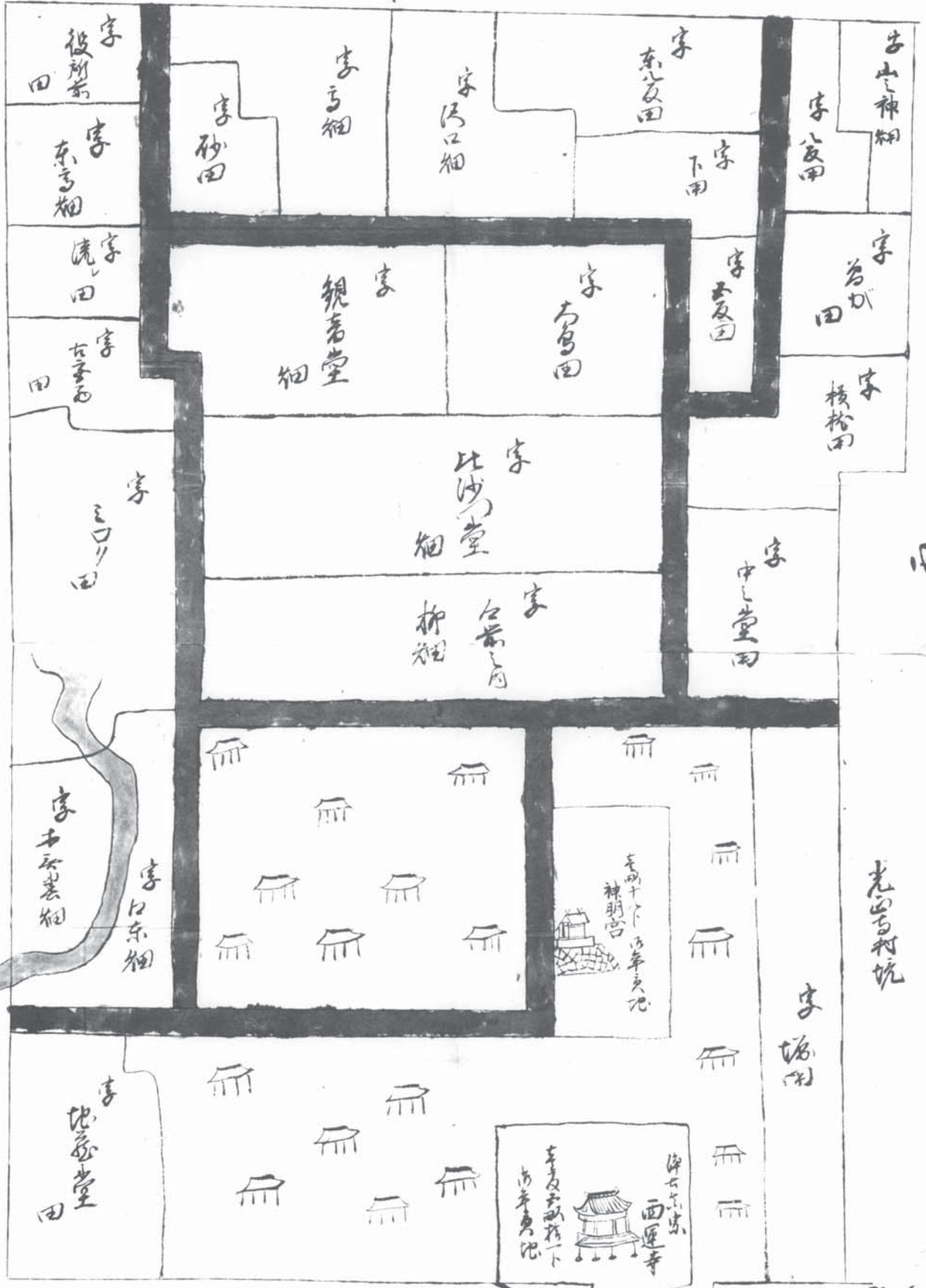
南

田

田

德和村

字



天保三年五月六日

光富村坑

德和村

德和村

德和村

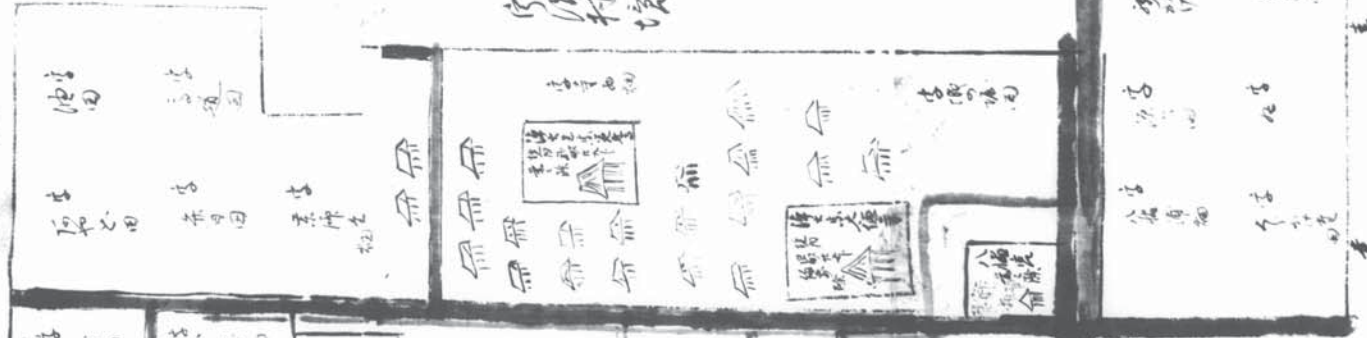
德和村

德和村

梅石村校

石
石浜村校

紫河村校



東
坂
新
坂

米守村校

水

音聲村校

奈村校

津島校

高野村校

東
東通

陸田村校

東

海
海

坂
坂

所
所

有
有

庄
庄

山

增村坑

增村坑

增村坑

增村坑

增村坑

小南村坑

增村坑

增村坑

增村坑

增村坑

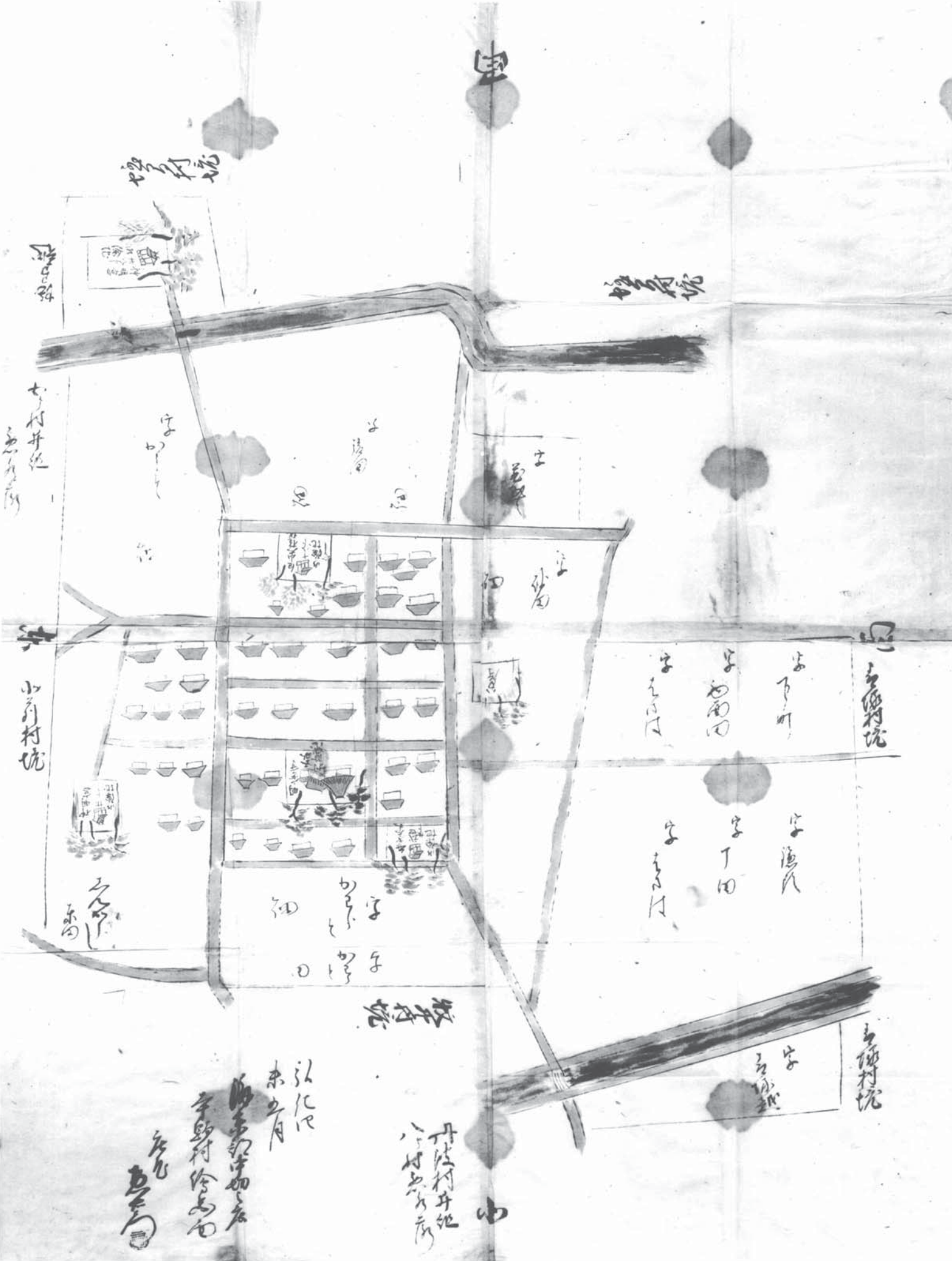
山

增村坑

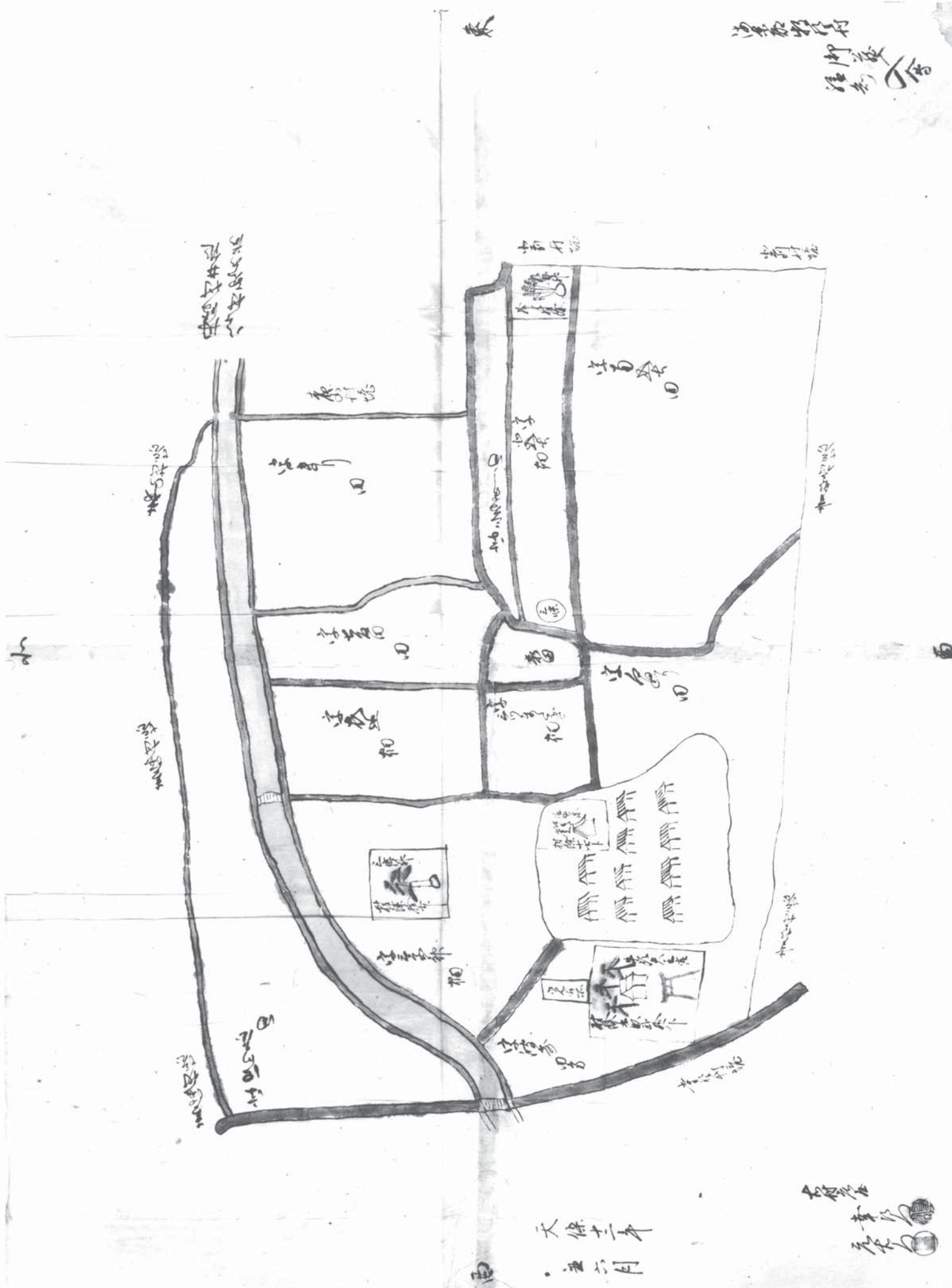
增村坑

增村坑

增村坑

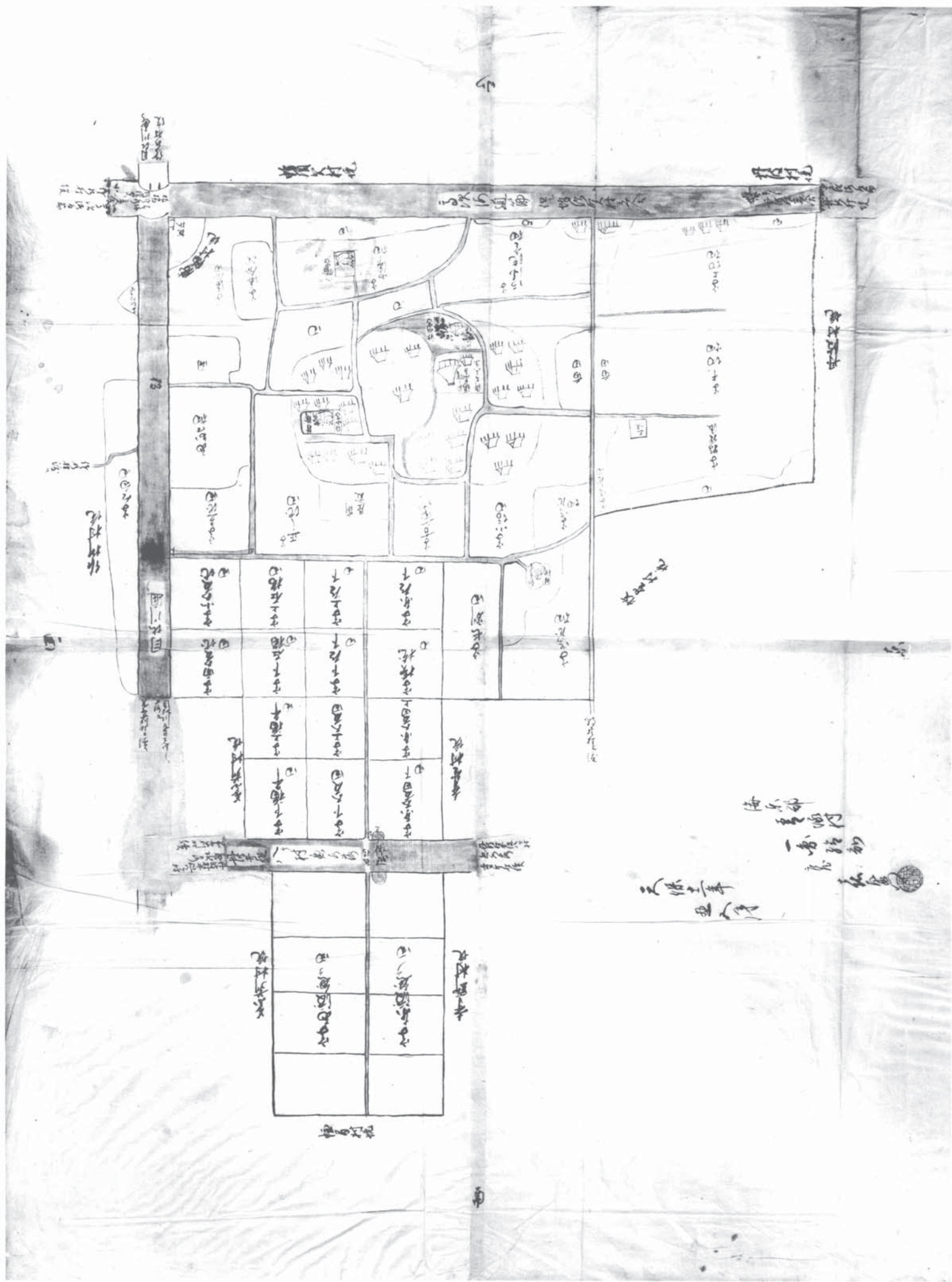


高島郡高島村
 高島郡高島村
 高島郡高島村



天保十二年
 五六月

高島郡
 高島村
 高島村



天保三年
 王...
 初...
 一...
 王...
 王...

大街

小巷

小巷

小巷

小巷

小巷

1

2

3

4

5

6

7

8

小巷

小巷

小巷

小巷

小巷

小巷

小巷

小巷

小巷

小巷

小巷

小巷

小巷

小巷

小巷

小巷

小巷

小巷

字

友井村地境

多化化

羊舌門新田同所新田

新田

羊舌新田

新田

西田

頭長村地境

五位多

友井村地境

羊舌門新田地境

田

羊舌門新田地境
西田

羊舌門新田地境
東田

羊舌門新田地境
中

藤代村地境

土色村地境

頭長村地境

頭長村地境

羊舌門新田地境

土色村地境

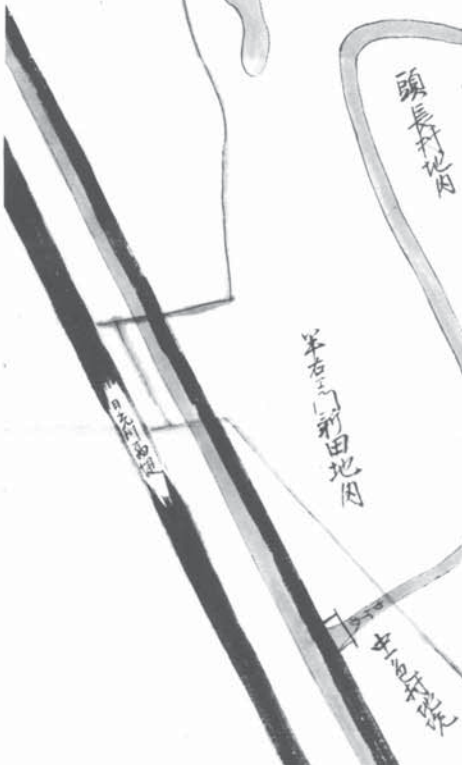
- 道堤松橋
- 村郷地境
- 池川
- 寺宮
- 字書下

以化信年
未九月

海島

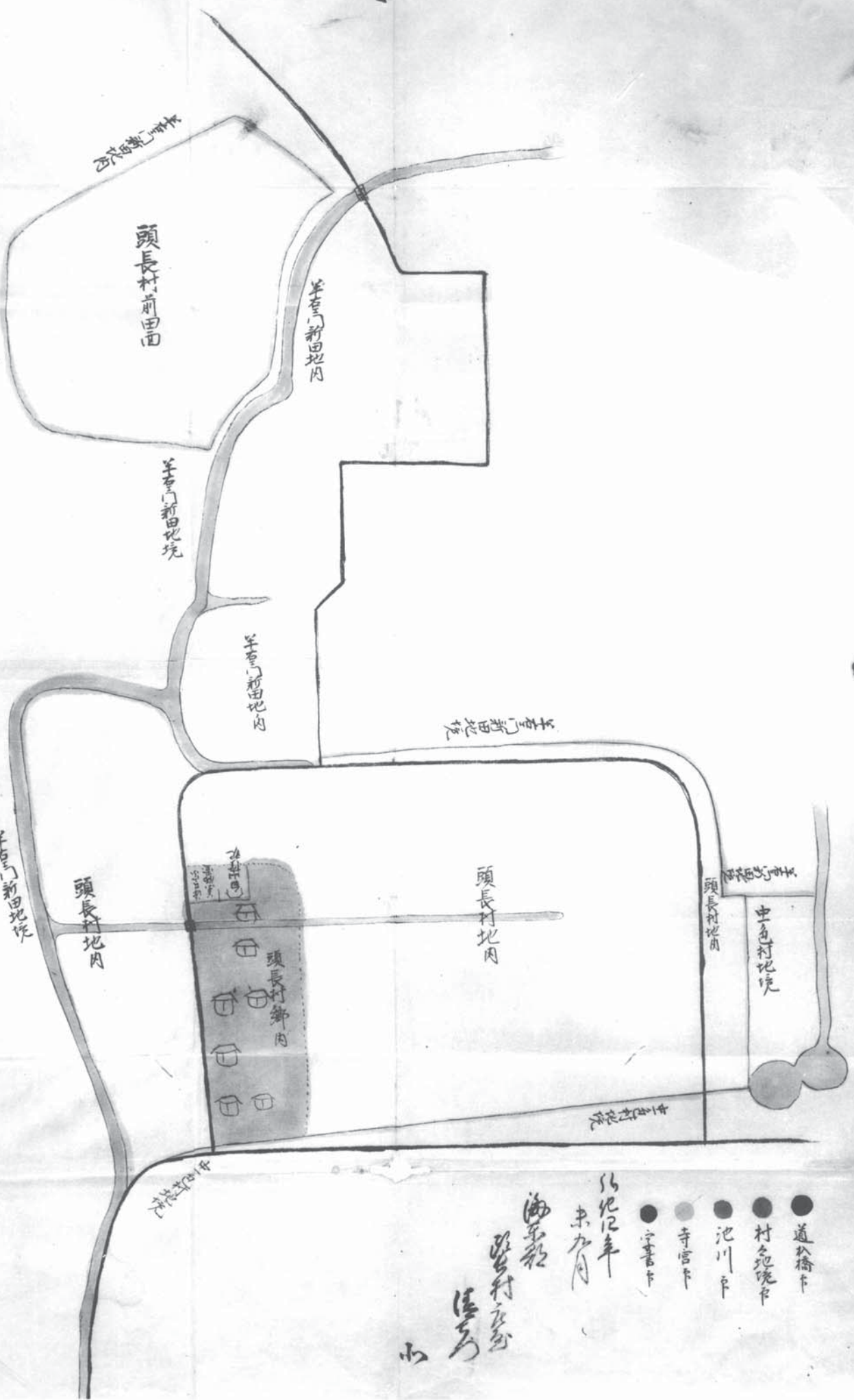
羊舌門新田

八



山

田



- 道松橋
- 村名宛
- 池川
- 寺宮
- 宝書

海軍
 皇村
 尾乃

比地
 未九月

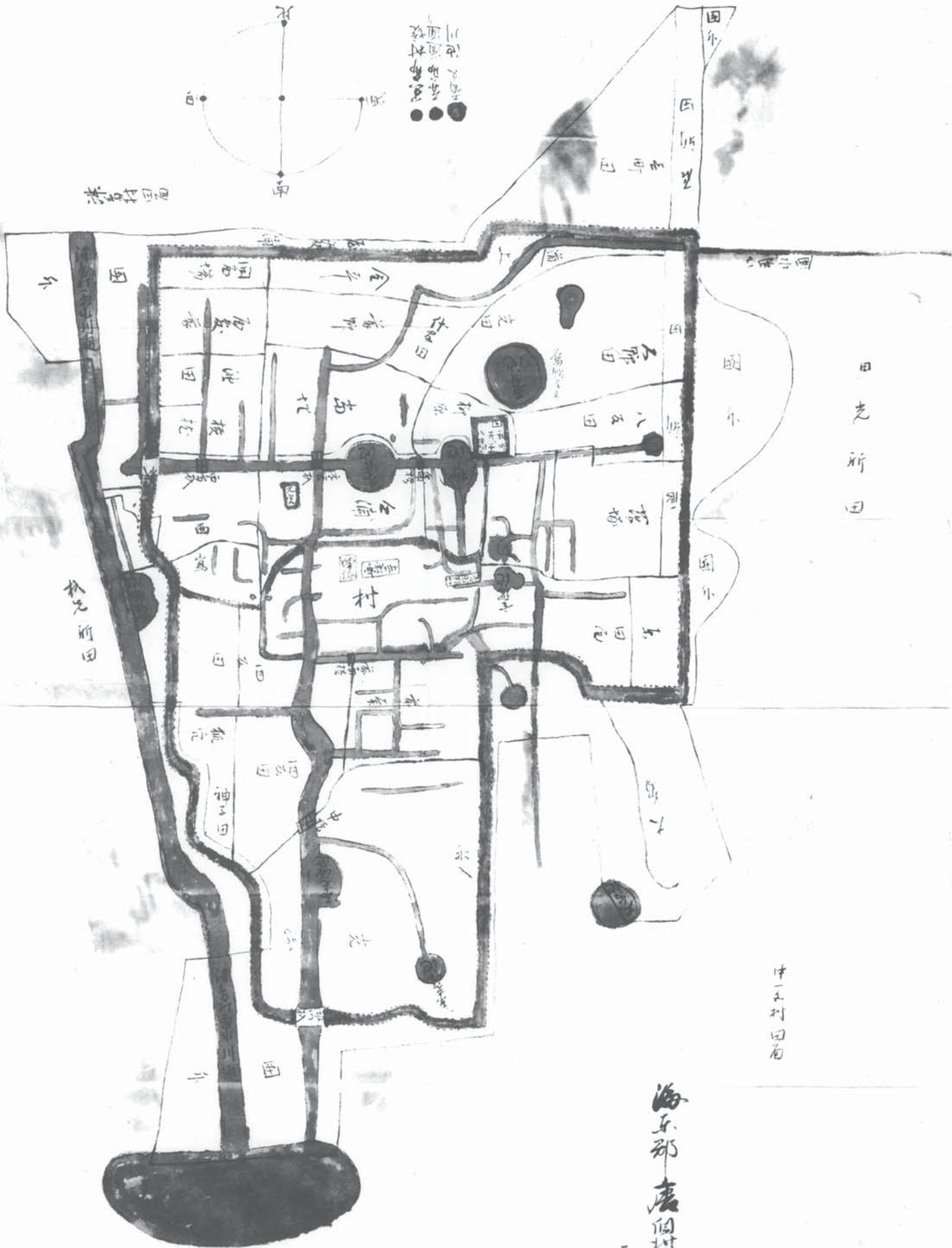
山

日光新田

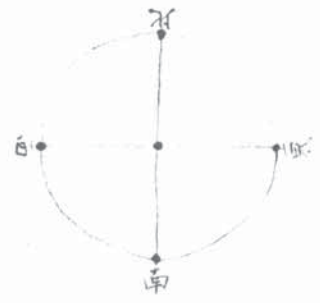
中五村田面

海乐郡廣田村給書面

廣田

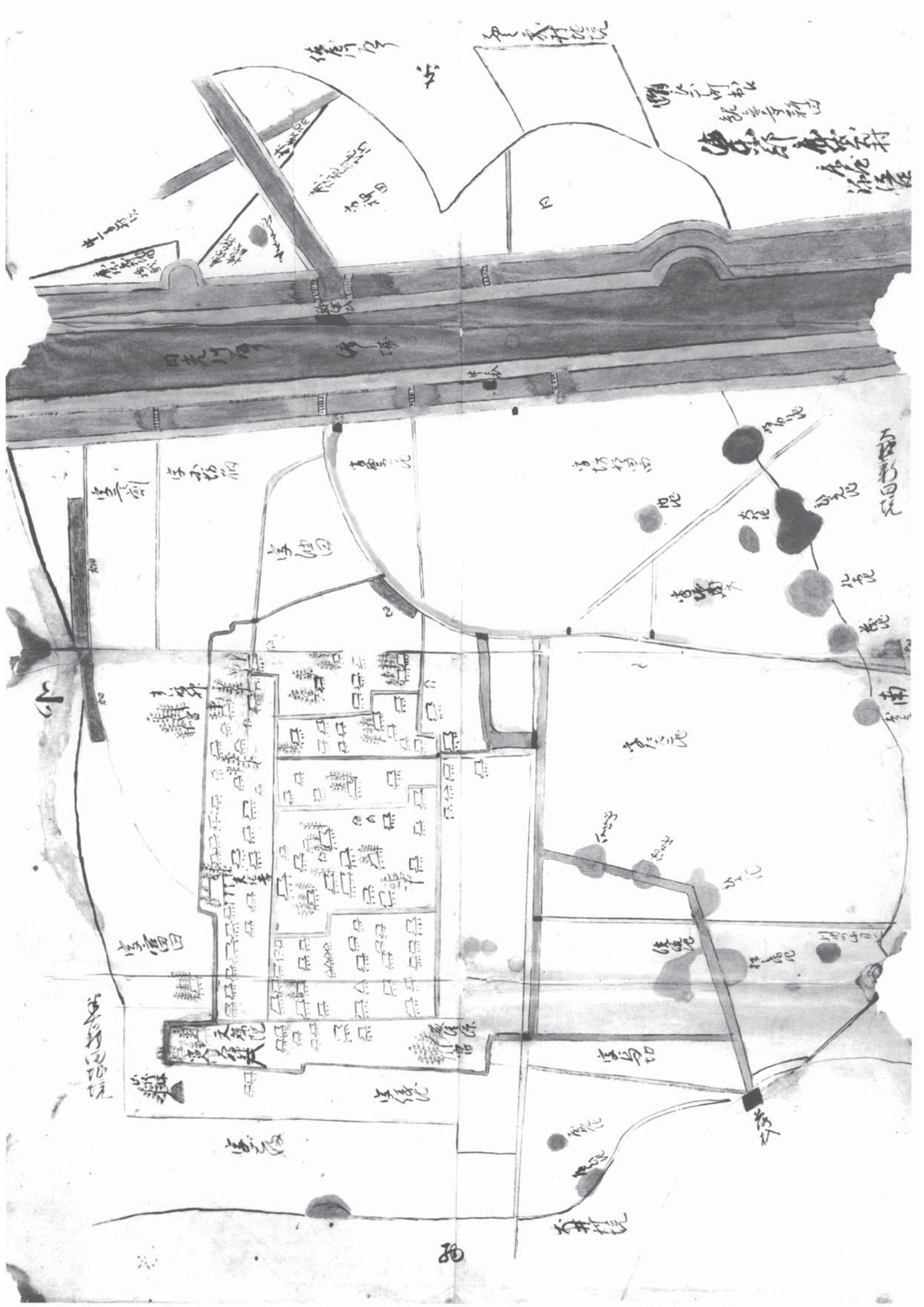


● 三石
● 三石
● 三石



廣田村給書面

日光新田



德安院

德安院

德安院

德安院

德安院

德安院

德安院

德安院

德安院

德安院

德安院

德安院

德安院

德安院

德安院

德安院

德安院

德安院

德安院

德安院

德安院

德安院

德安院

德安院

德安院

德安院

德安院

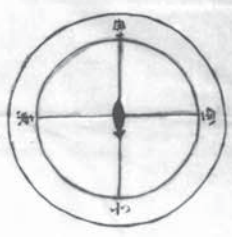
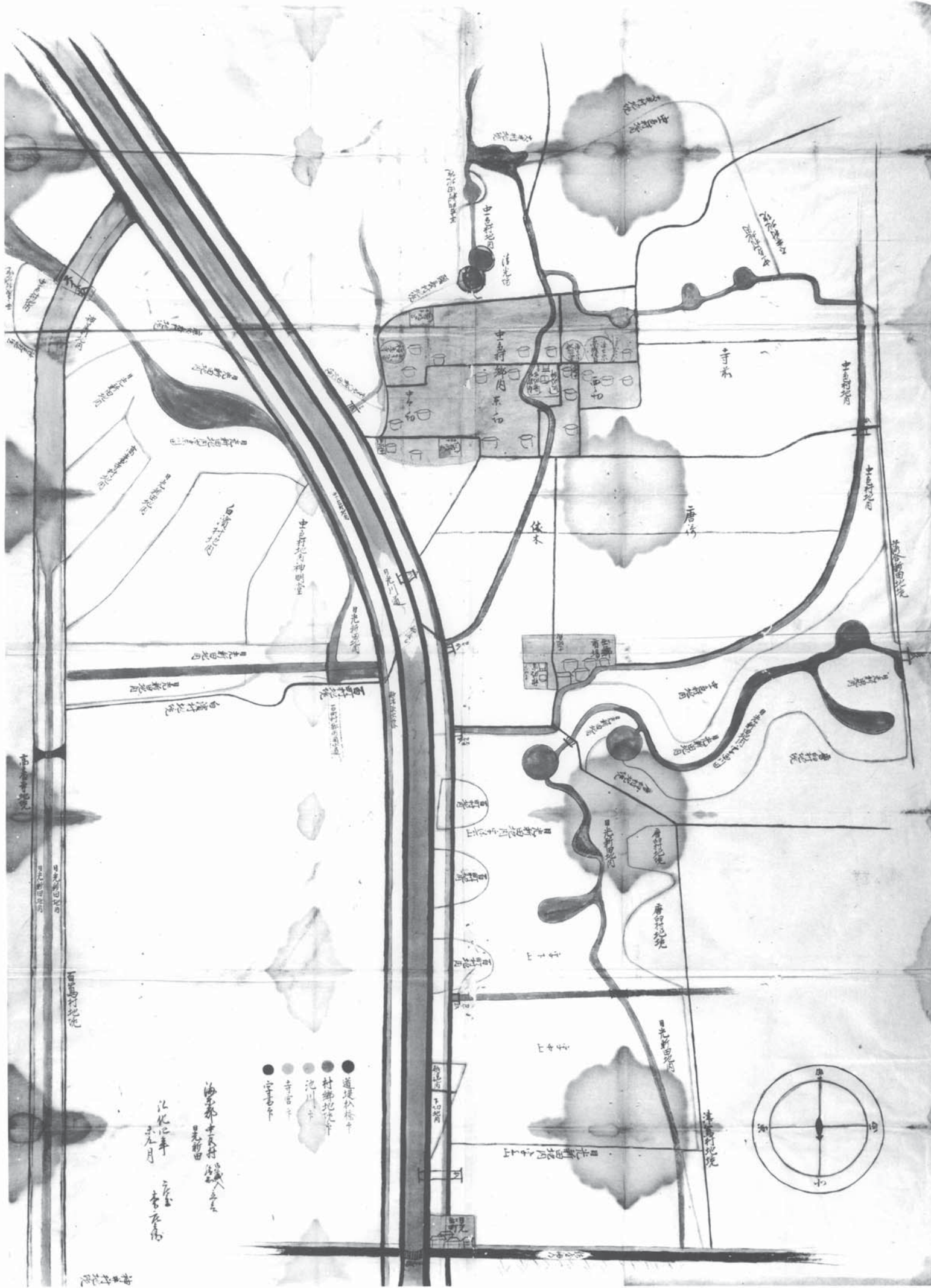
德安院

德安院

德安院

德安院

德安院



- 道堤松中
- 村郷地境
- 池川
- 寺
- 宇

海部村中宮村
 弘化元年
 九月
 寺

日光新田

日光新田

東

田

後倉村田

大井村田

川東

川西

田

東

中一色村田

川西

天保十二年

五月

一色御入

海軍部 舊倉形田

店名 子屋



新倉村田

清野村田

川西

川東

高田村田

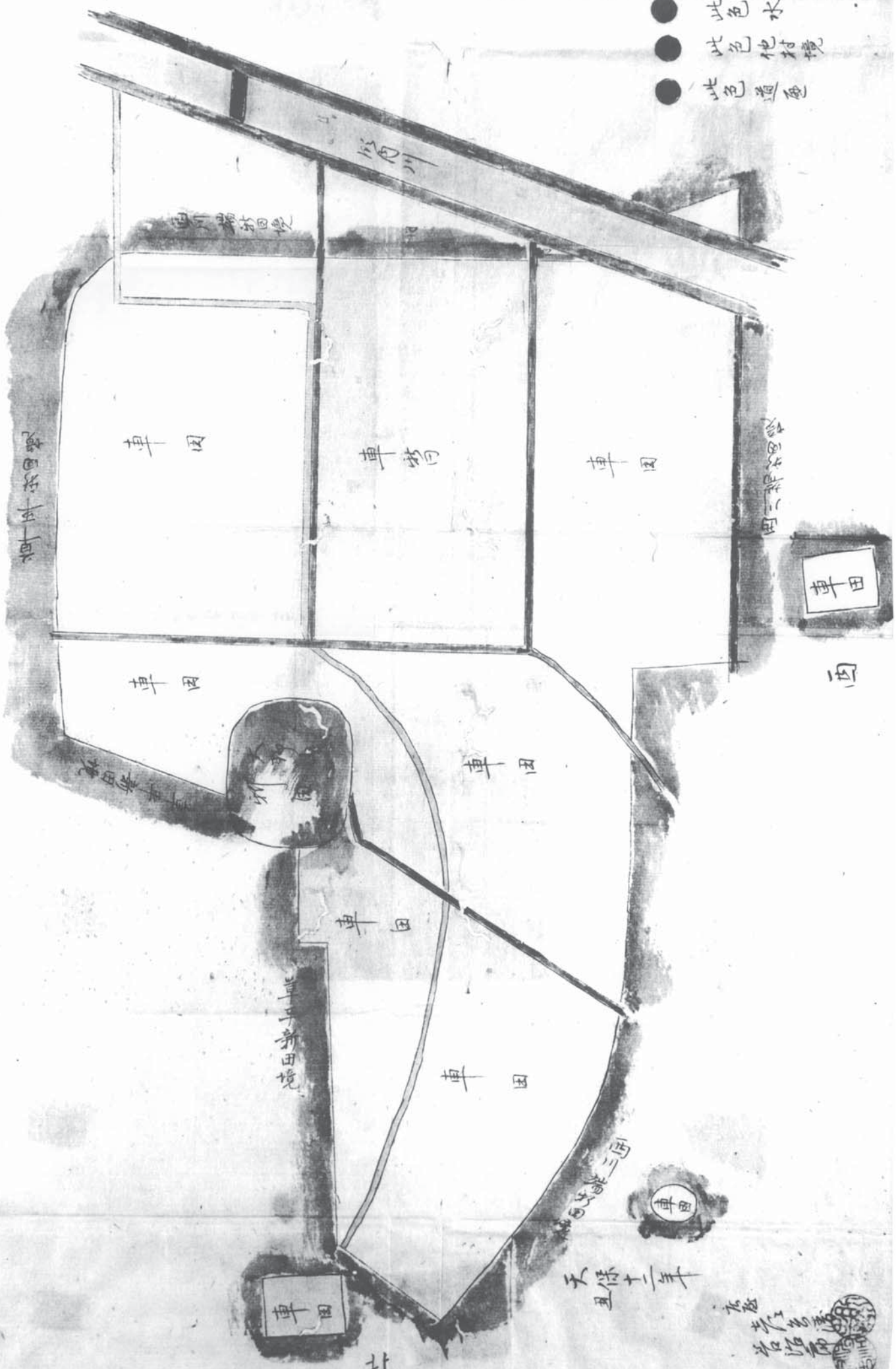
北

天保十二年

河原津島天王祭車田絵図

海东郡河原車田

- 此色水
- 此色他村境
- 此色道邊





東

西

北

天保十二年

古卷
 菅原
 菅原



津島市史 資料篇 (四)

昭和四十八年三月二十日 印刷

昭和四十八年三月二十五日 発行

津島市史編さん委員会

発行者 津島市教育委員会

印刷所 菱源印刷工業株式会社

名古屋市中村区二ツ橋町四丁目五十九番地
